

A Life that Manifests the Fragrance of God

神の香りを放つ人生

IHOP大学講師、マイク・ビッケル、スチュアート・グリーブス、三位一体との親密さ
ヨハネ13章～17章シリーズ、ヨハネ15:12

あなたの美しさを喜びとして、あなたの喜びの川から飲ませてください。(詩篇36:8、37:4)

I. 愛することを命じる神の栄光を体現する

A. ヨハネ15:12は、ヨハネ13:35の再掲で、イエスは人々が人を愛するとき、それは神の栄光と良さを他の人に現し、特に罪深い人に対する優しさにおいて神の人格がどのようなものかを示し、私たちの内面において超自然の資質に導くために神が選んだ方法だと宣言されたのです。私たちが他者を愛することによって、それを見る人々にはイエスが魅力的に見えるのです。

12 わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うこと、これがわたしの戒めです。(ヨハネ15:12)

35 もし互いの間に愛があるなら、それによってあなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるのです。(ヨハネ13:35)

23 わたしは彼らにおり、あなたはわたしにおられます。それは、彼らが全うされて一つとなるためです。それは、あなたがわたしを遣わされたことと、あなたがわたしを愛されたように彼らをも愛されたこととを、この世が知るためです。(ヨハネ17:23)

B. 主は意図的に、そして喜びをもって、地上におけるご自分の評判を、人々が歩む愛の量に結びつけられました。主の計画は、主の「公式な」証人であり大使である人々を通して、主の香りや栄光を地上に現すことです(2コリント2:14-15、イザヤ43:10-12、2コリント5:20)。

14 しかし、神に感謝します。神はいつでも、私たちを導いてキリストによる勝利の行列に加え、至る所で私たちを通して、キリストを知る知識のかおりを放ってくださいます。15 私たちは、救われる人々の中でも、滅びる人々の中でも、神の前にかぐわしいキリストのかおりなのです。(2コリント2:14-15)

1. 香り: 香りの目的は、人を魅了することです。神の香りを現す生き方があります。それは、信者も未信者も驚かせ、うならせ、感動させるものです。
2. 神に: 父なる神は、深く愛そうとする、美しい生き方に惹かれます。
3. 常に導く: 神は、私たちが内なる人に「勝利」をもたらす最高の機会を与えるために、私たちの人生を特別に導いています。神は、愛の道を受け入れることによって得られる霊的成功のために、私たちを整えてくださったのです。
4. 至る所で: 主の計画は、私たちが行く先々でイエスの魅力が私たちの中に見えるようにすることです。

C. 責められても、苦しみの中にあっても、神の愛と喜びのうちに歩む人は、それを見る人にとって、イエスにある豊かさが魅力的に見えるのです。あなたがイエスに喜びと自信を持ち、傷つけられても、苦しみの中にあっても、愛のうちに歩んでいるなら、人々はなぜそれが可能かを

知りたがりです。だから、彼らは「あなたがたのうちにある希望」(1ペテロ3:5)について尋ねるのです。それは、彼らが傷つき、苦しんでいるときに、どのように喜びを持ち、困難な人々を愛せばよいのかが、わからないからです。

14 いや、たとえ義のために苦しむことがあるにしても、それは幸いなことです。彼らの脅かしを恐れたり、それによって心を動揺させたりしてはいけません。15 むしろ、心の中でキリストを主としてあがめなさい。そして、あなたがたのうちにある希望について説明を求める人には、だれにでもいつでも弁明できる用意をしておきなさい。(1ペテロ3:14-15)

D. 人々は私たちを中傷した後、私たちのそれでも神を敬う反応を観察し、ある者は神を讃えるように導かれます。未信者に対する伝道は、私たちが困難な時に持つ喜びと愛であり、完全な指導のもと、私たちのすべてを満ち足らせる神がいることを宣言しているのです。

12 異邦人の中にあつて、りっぱにふるまいなさい。そうすれば、彼らは、何かのことであなたがたを悪人呼ばわりしていても、あなたがたのそのりっぱな行いを見て、おとずれの日に神をほめたたえるようになります。(1ペテロ2:12)

II. ふたつの偉大な命令(マタイ22:37-39)

A. この二つの偉大な命令は、深く結びついています。私たちが人々を最もよく愛するのは、神を愛することから溢れ出るものであり、人々を愛そうとすると、私たちは神を最もよく愛するのです。神を求め、愛することによって、私たちの人生は人々をより良く愛するために力を与えられます。ある男性は、神を愛し、神ともっとつながることで、妻をもっと愛するようになります。母親は、神を愛し、神とより深くつながることによって、自分の子どもをより良く愛するようになります。

37 そこで、イエスは彼に言われた。『心を尽くし、思いを尽くし、知力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。』38 これがたいせつな第一の戒めです。39 『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ』という第二の戒めも、それと同じようにたいせつです。(マタイ22:37-39)

B. 前提:すべての人間は、神に似せて創造された大きな価値と尊厳を持っています(創世記1:27)。人間は神に似せて造られた存在であると考えるとき、その性格や能力の優劣にかかわらず、大きな価値を持っていることが分かります。そして、一人ひとりに神の価値と愛があることを知ることによって、私たちはその人をより深く、より一貫して愛することができるようになるのです。私は、人々が他の人を神の「似姿の担い手」として見るとき、その人をより愛するようになるのを見てきました。たとえどんなに罪深く、傷ついた人であっても、神の目を通して見ると、その人を見捨てることができなくなるのです。

27 神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして彼を創造し、男と女とに彼らを創造された。(創世 1:27)

III. 復習:神の愛と喜びを体験することは、私たちを強くする(ヨハネ15:9-12)

A. 神の愛と喜びを体験することで、私たちは他者への犠牲的な愛に歩む力を与えられます(ヨハネ15:12)。私たちは従順の霊をもって神の愛にとどまり(15:9)、神の喜びを経験し(15:11)、それが私たちに犠牲的な方法で人を愛する力を与えるのです(15:12)。私たちは、喜びを感じるのではなくては、一貫して愛し続ける能力に欠けています。

9 父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛しました。わたしの愛の中にとどまりなさい。10 もし、あなたがたがわたしの戒めを守るなら、あなたがたはわたしの愛にとどまるのです。それは、わたしがわたしの父の戒めを守って、わたしの父の愛の中にとどまっているのと同じです。11 わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、わたしの喜びがあなたがたのうちにあり、あなたがたの喜びが満たされるためです。12 わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うこと、これがわたしの戒めです。(ヨハネ 15:9-12)

B. わたしもあなたがたを愛しました(15:9)。私たちは、イエスが私たちをどのように見、愛しておられるか、また、特に私たちの罪や失敗の中で、イエスが 私たちに対してどのように優しさを示しておられるかを見ることによって、愛が育っていきます(エペソ2:6-7)。私たちに對するイエスの愛は、私たちがイエスの恵みのレンズを通して自分自身を見、愛するための基礎となります(マタイ22:39)。

C. 私は喜びを残します(15:11)。私たちにおける神の喜びには、イエスと交わる喜び(詩篇16:8、ヨハネ3:29、16:14)と神のリーダーシップに対する深い幸福感と確信(ローマ8:28)が含まれています。特に苦難の時代における私たちにおけるイエスの喜びは、イエスと関わる現実が私たちに「すべてを満たす喜び」をもたらすことを宣言しており、これは イエスの魅力を表し、他の人にもこの喜びを求めさせるのです。

D. わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい(15:12)。ここで、イエスは、私たちが神のように人を愛することができるように、どこまで力を与えることができるかを教えています。神の私たちへの命令には、私たちがそれに従うことができることを可能にするという約束が含まれています。私たちが他の人々の中に神の姿を見るとき、そして私たちに對する神の愛を見るとき、愛は私たちの中で育っていきます。私たちの中にある神の喜びは、一貫した愛が必要とする犠牲を通して私たちを支えてくれます。私たちは、神が私たちが受けるに値しない愛で、愛してくださっていることに感謝で満たされます。このことが私たちに人を愛する力を与えてくれます。

E. 要約: 御国の考え方を持つことで、私たちは他人を愛することができるようになります。

1. 私たちは自分を不当に扱う人を愛することによって、イエスの魅力を現します(ヨハネ 13:35; 17:23)。
2. 私たちは他者の中に神の姿を見て、その偉大な価値と尊厳をその人の中に見ます(創世記1:27)。
3. 私たちは、弱さの中に神の愛を感じ、恵みのレンズを通して自分自身を見ます(ヨハネ 15:9)。
4. 私たちは神の愛と投資を、たとえ自分を不当に扱う人々であっても、彼らの中に見出すのです(マタイ25:40、ヨハネ3:16)。
5. 私たちは愛に携わることによって、靈的な鈍感さからより自由になることができます(2 コリント4:17、ガラテヤ6:7-9)。
6. 私たちは人を助ける思いやりの美しさを見ます。彼らは神を楽しみ、人を祝福するのです(マタイ9:36)。
7. 私たちは人を愛することによって、永遠の報いを受けるという保証があります(マタイ 10:42、ヘブル6:10)。

IV. 自分を不当に扱う人を愛すること: 超自然的な内面生活への道

A. 私たちは、自分にとって興味のない人だけでなく、自分を不当に扱っている人も愛さなければなりません(ルカ6:27- 38)。私たちは、自分を愛してくれる人、自分が好きなことを楽しんでもくれる人のことを愛するのは当然です(ルカ6:32、マタイ5:46)。ルカ6:27- 38は、神が敵を愛し行動されるように、人を愛することが実際的にどのようなものかを最も詳しく説明しています。私たちは、愛に応えるために何度も心を整えなければなりません。

32 自分を愛する者を愛したからといって、あなたがたに何の良いところがあるでしょう。罪人たちでさえ、自分を愛する者を愛しています。33 自分に良いことをしてくれる者に良いことをしたからといって、あなたがたに何の良いところがあるでしょう。罪人たちでさえ、同じことをしています。34 返してもらうつもりで人に貸してやったからといって、あなたがたに何の良いところがあるでしょう。貸した分を取り返すつもりなら、罪人たちでさえ、罪人たちに貸しています。35 ただ、自分の敵を愛しなさい。彼らによくしてやり、返してもらうことを考えずに貸しなさい。そうすれば、あなたがたの受ける報いはすばらしく、あなたがたは、いと高き方の子どもになれます。なぜなら、いと高き方は、恩知らずの悪人にも、あわれみ深いからです。36 あなたがたの天の父があわれみ深いように、あなたがたも、あわれみ深くしなさい。37 さばいてはいけません。そうすれば、自分もさばかれません。人を罪に定めてはいけません。そうすれば、自分も罪に定められません。赦しなさい。そうすれば、自分も赦されます。38 与えなさい。そうすれば、自分も与えられます。人々は量りをよくして、押しつけ、揺すり入れ、あふれるまでにして、ふところに入れてくれるでしょう。あなたがたは、人を量る量りで、自分も量り返してもらうからです。(ルカ6:32-38)

1. 私たちは、敵を愛するという逆の精神で行動することで、神の助けを受けることができます。
2. 私たちを不当に扱う者を愛そうとすることは、御霊によって私たちを超自然的な 生き方に導いてくれます。それは、私たちが行く先々で神の香りを放ち、神の 栄光を現して行くことです。

B. 神は人々が感謝しない悪人であっても愛されます(ルカ6:35)。神は悪人にも太陽と雨を与えることによって愛されます。神は悪人を祝福します。それは完全に愛することが神のご性質だからです(ローマ5:10)。

C. いと高き方の子ども達とされる。このように愛することで、あなたは神の愛を受け取っている証拠となります。これは、神が、恩知らずな悪人であっても、壊れた人々を愛する父であることを証明する最も説得力のある方法です。あなたは、イエスの魅力を示す恵みのトロフィーとなるのです。英国国教会の牧師であったアルフレッド・プラマー(1852-1916)は、「善に悪を返すのは悪魔的、善に善を返すのは人間的、悪に善を返すのは神的」と言っています。

D. 敵を積極的に愛するのには、言葉(祝福)、行い(善行)、祈りが含まれます。

44 しかし、わたしはあなたがたに言います。自分の敵を愛し、迫害する者のために祈りなさい。45 それでこそ、天におられるあなたがたの父の子どもになれるのです。天の父は、悪い人にも良い人にも太陽を上らせ、正しい人にも正しくない人にも雨を降らせてくださるからです。(マタイ5:44-45)

1. 敵を愛せよ。敵とは、意図的に私たちを傷つけ、妨げようとする敵対者のことです。
2. あなたを呪う者を祝福しなさい。私たちは、彼らに対して、また彼らについて祝福の言葉を語らなければならないのです。

3. あなたを憎む者に善いことをしなさい。私たちは、彼らに良いことをするための実践的な方法を探さなければなりません。
4. あなたを利用する者のために祈りなさい。敵のために祈ることによって、私たちは彼らのために神の前の破れ目に立つことができます。そうすることで、私たちの愛が強まります。誰かのために祈るということは、その人を愛することなしには不可能なのです。

E. 神は、私たちの内なる人が、神の栄光によって強められ、新しくされると約束されました。この時代の栄光には、解放された喜びの心が含まれ、来るべき時代には、永遠の報酬が含まれます。私たちは、霊的な退屈な生活に満足することなく、もっと栄光を体験したいと切に願っています。迫害されても忠実であり、自分を不当に扱う者を愛することが、主の栄光をより多く経験するために必要な道なのです。

16 ですから、私たちは勇気を失いません。たとえ私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています。17 今の時の軽い患難は、私たちのうちに働いて、測り知れない、重い永遠の栄光をもたらすからです。(2コリント4:16~17)

F. このことを受け入れることによって、私たちは次第に超自然的な生き方へと導かれるのです。敵を積極的に愛することを怠ると、神との関係において多くの良いものを失います。もし私たちが自分を不当に扱う人々のことで頭がいっぱいになると、攻撃や恨みが重くのしかかる可能性ははるかに高くなります。

V. 神の栄光の顕著な現れ: 神の愛の感情の啓示

A. モーセは神の栄光を見るために祈りました。神はそれに答えてモーセに神の善を現し、神の名(人格と感情)を宣べ伝えると約束されました。神は最高の人格者です。最も親切で、善良で、純粋で、幸せで、賢く、情熱的な存在です。

18 すると、モーセは言った。「どうか、あなたの栄光を私に見せてください。」19 主は仰せられた。「わたし自身、わたしのあらゆる善をあなたの前に通らせ、主の名で、あなたの前に宣言しよう。わたしは、恵もうと思う者を恵み、あわれもうと思う者をあわれむ。」(出エジプト記33:18-19)

B. 神の栄光の頂点は、まさに神の愛の感情を現すときである(出エジプト記34:6)。

6 主は彼の前を通り過ぎるとき、宣言された。「主、主は、あわれみ深く、情け深い神、怒るのにおそく、恵みとまことに富み...」(出エジプト34:6)

C. 主は憐れみ深い方です。主は弱さと罪のある私たちに優しく関わってくださいます。慈しみは、主がモーセに明らかにされた主のご人格の最初の側面であり、私たちが最初に、そして最も必要とするもののなのです。主はあわれみを喜ばれます。それは宇宙を導く上で、主のお気に入りのことの一つです(ミカ7:18)。

18 あなたのような神が、ほかにあるでしょうか。あなたは、咎を赦し、ご自分のものである残りの者のために、そむきの罪を見過ごされ、怒りをいつまでも持ち続けず、いつくしみを喜ばれるからです。(ミカ7:18)

D. 主は恵み深い方で、私たちに見合うものだけを与える方ではありません。主は、私たちが主に従い、仕えようとする小さい努力を、寛大に評価してください。主は私たちの弱さを覚えておられ、弱さを理由に私たちを拒絶されることはないのです。私たちは自分の弱さに驚き、憤慨するかもしれませんが、神はそうではありません。

10 私たちの罪にしたがって私たちを扱うことをせず、私たちの咎にしたがって私たちに報いることもない。11 天が地上はるかに高いように、御恵みは、主を恐れる者の上に大きい。12 東が西から遠く離れているように、私たちのそむきの罪を私たちから遠く離される。13 父がその子をあわれむように、主は、ご自分を恐れる者をあわれまれる。14 主は、私たちの成り立ちを知り、私たちがちりにすぎないことを心に留めておられる。(詩篇 103:10-14)

E. 主は寛容です。主は、私たちを「見捨てる」のではなく、また私たちの失敗を暴露するのではなく、私たちと気長に付き合ってください。主は私たちの罪深い反応に長く耐え、私たちが失敗しても、私たちに対する熱意を失うことはありません。

F. 主は善に満ちあふれておられます。主は私たちのための良い計画を持っておられます。聖書の中で最も多く記録されている歌があります。「主は良い方。主は良い方で、そのいつくしみは永遠に続く」(1コリント16: 3、2コリント5:13、7:3、20:21、エズラ3:11、エレミヤ 33:11) 神は私たちから最良のものを取り除くことはなさいません(詩編 84:11)。

G. 神の人格は、聖書で定義されているように、愛に満ちています。私たちはその愛を表現するのです

4 愛は寛容であり、愛は親切です。また人をねたみません。愛は自慢せず、高慢になりません。5 礼儀に反することをせず、自分の利益を求めず、怒らず、人のしたあくを思わず、6 不正を喜ばずに真理を喜びます。7 すべてをがまんし、すべてを信じ、すべてを期待し、すべてを耐え忍びます。8 愛は決して絶えることはありません。預言の賜物ならばすたれます。異言ならばやみます。知識ならばすたれます。(1コリント13:4-8)